

もくじ



今月の表紙
『榊大浦ミート』

2 特集

第24期役員、議員が決定!

7 クローズアップ

「安全なまちづくりを警察・市民協働で」
兵庫県加古川警察署長
警視正 大石 洋己 さん

9 エッセイ

「職業はマジシャンです」
(一社) きずな
理事長 小林 賢人 さん

11 会議所のうごき

「姉妹都市マリンガからの視察団と交流」 他

12 団体だより

青年部・女性会

15 会員さんNOW

会員の皆さん、おめでとうございます!
秋の叙勲 受章・加古川市技能功労者表彰 受彰

15 会議所からのお知らせ

印刷物入札 他

15 インフォメーション

関係機関からのお知らせ

16 会議所カレンダー

「今月の“こんな日”」

事業所データ

◆代表者

おおうら たつや
代表取締役 大浦 達也

◆所在地

加古川市志方町志方町1306

◆電話

079-452-4038

◆ホームページ

<http://ooura-meat.com/index.html>

◆表紙写真

- ①「笑う門には“肉”来たる!」皆さんを“肉”で笑顔にします(2列目左から2人目が大浦社長)
- ②お肉のことは私達にお任せください
- ③良質な精肉がショーケースに並びます
- ④「お客様に満足を」研修会で話し合います
- ⑤進物には極上の和牛を。年末年始の贈り物にピッタリの言葉の箱に入れて。



ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



お肉を食べてみんなを幸せにしたい!

「お肉食べている時って、みんな幸せそうな顔してるでしょ?あの表情を見ると本当に嬉しくなるんですよ。その思いを言葉にしたのが看板にも掲げている『笑う門には“肉”来たる』なんです」と、霜降り肉のステーキ門を切りながら話す大浦達也社長は、父・正彦(まさひこ)さんが創業した榊大浦ミートは、父のアドバイスもありました。「進路に悩んでいた時に、父のアドバイスもあり家業を継ぐ決意をしました。父はほとんど口を出さず私の思うようにさせてくれましたが、本当に大変な時は手を差し伸べてくれて、父として経営の先輩として厳しさと優しさで私を成長させてくれました」と感謝の気持ちで話します。

それから17年、大浦社長は47名の従業員とともに同社を盛り立てています。「食肉センターがすぐ近くにあるのが何よりの強みで、新鮮で安心安全な食肉を提供することができます。だから加古川の人たちは肉に対して舌が肥えています。高価な肉が美味しいのは当たり前、私たちが求められているのは『良質な肉を手ごろな価格で提供する』こと。そのためには、社員には肉に対する確かな“目”と、お客様に寄り添う“心”を持つてほしいと思います。月1回、社内研修会を開催しています。その効果もあって、お客様も自分たちも満足できることは何なのか?を考え次々とアイデアを出し実践してくれています。頼もしい社員ですよ」とその成長に目を細めます。大浦社長は今後について「加古川和牛・志方牛は認知度がまだまだです。できるだけ多くの方に知ってほしい。甲子園球場では大浦ミートが納入了した志方牛すじを使ったそばめしとカレーを販売しています。こんなに美味い肉が加古川にはあるんだということをもっと広げて『肉のまち・加古川』と誰からも言われるようにしたいですね。その一端を担えるよう大浦ミートも、地域に愛されます。ますます発展させていくために従業員も日々切磋琢磨しています。そして私がそうだったように息子にも家業を継ごうと思っしてほしいです。そのために楽しく、頼もしい父親でいたい」と微笑みます。最後に美味しい焼き方のポイントを伺うと「冷蔵庫から出してすぐ焼くのではなく常温に戻してから焼くと、焼いた時に外側と内側の温度差がないので、均等に火がとおり美味しくなります。クリスマスにステーキ、年末にすき焼き・しゃぶしゃぶと、様々な食べ方でお肉を楽しんでほしいですね」今年の冬、大浦ミートが食卓に笑顔の花を咲かせます。